



SDG s 研究発表会

昨年度より佐賀県教育委員会研究指定校事業を受け、生活科や総合的な学習の時間を中心にSDGs教育の研究を進めて参りました。



11月17日(木)の午後に、その成果発表会を1年生、4年生、5・6年生の授業公開と研究協議会という形で実施しました。東唐津の素晴らしい環境を生かし、子ども達が自分たちの住む町に誇りを持てるような学習を進めて参りました。地引網体験をはじめ、東の浜や虹の松原、地域での活動には、保護者の皆様、地域の皆様のご支援ご協力があるからこそより効果的な教育活動になっているのだと、改めて実感する機会となりました。誠にありがとうございます。また、発表会当日も駐車場整理・参加者誘導・受付業務を保護者様よりお手伝いいただき、感謝申し上げます。参会いただいた先生方からは「子ども達が生き生きと学習に向かう姿に刺激を受けました。」「地域に密着した活動は、子ども達を夢中にさせ、主体的な学びにつながるものがよく分かりました。」等のお声をいただいています。今後も、さらに、子ども達とともに「誰一人取り残さない」持続可能な町づくり、学校づくりに尽力していききたいと思います。

五中校区 PTA 懇親ミニバレー大会 優勝



11月11日(土)14:30~第五中体育館において、五中校区ミニバレー大会が行われました。各校1チームが参加し、5校総当たりの結果、全勝優勝しました!

参加いただいた保護者の皆様、ありがとうございました。皆さん、ファインプレーで熱く、楽しい時間でした。来年は優勝トロフィー返還をしなくてはなりませんね(笑)

能 ワークショップ



11月7日(火)に 能楽師 多久島法子先生に来ていただき、5・6年生が「能」の学習を行いました。謡(うたい)、囃子(はやし)、舞(まい)から構成されていること。映画やドラマで使われる「脇役」とは、能でいう「シテ方(主人公)」「ワキ方(ワキを演じる人)」から由来していること。等々、教えてもらいました。また、「能」は、舞台背景に松しか描かれていません。だから、演者の言葉や動きから想像力を働かせて楽しむものなのだそうです。後半は、謡曲「高砂」の一部を教えてもらい、一緒に謡いました。多久島先生が、子ども達の覚えが早いことにびっくりされました。次は、扇子を一人ずつ持ち、開き方や持ち方、そして舞を習いました。少しの時間でしたが、先生のお謡いに合わせて舞う姿は、背筋が伸び、凛とした雰囲気になりました。

